



おしゃべりかわらばん

おはよう専仁堂さんを偲ぶ 太平川清掃ハイキング



4月1日(日)午前5時、卸町の
国際パチンコ駐車場に集合。会費500円

「おはよう専仁堂さん」は、明治36年に仁井田で生まれ、牛島で薬局を営んだ佐藤専治さんのこと。子どもたちとのあいさつ運動、太平川の桜の植樹や水質の浄化にも貢献されました。専仁堂さんのご逝去をしのいで清掃します。問い合わせ 秋田清掃登山協議会の大山さん ☎(868)3246



「太平川清掃ハイキングへどうぞ」と秋田清掃登山協議会の大山鶴子さん

自然にやさしさを

郷土と自然を愛した専仁堂さんの気持ちをくんで清掃ハイキング。川に捨てられた缶や瓶を拾い集めます。デリケートな自然には人にかかる数十倍のやさしさが必要です。身近な地域で自然に対する意識を見直してみませんか。

好きこそ物の上手なれ

大会は緊張したけど満足のいくスピーチができました。英語は母の手ほどきで、小さい時から絵本を読んでもらったりして自然に慣れ親しみました。本当に英語が好きなんです。将来は英語が活用できる職業に就けたらいいな。



全国ジュニア英語スピーチコンテストで2年連続優秀賞の西本寛さん(下北手中2年)

敦賀と秋田、北前船からの交流は不滅だった！

2月24日と25日、福井県敦賀市で、秋田市、河辺町、雄和町、(財)あきた産業振興機構の主催で「あきた産業交流展in敦賀」を開催しました。フェリーの就航を機に、秋田の産業や観光を売り込もうと開いたものです。会場では工芸・物産品のほか、秋田の企業がフェリーを利用して運んだ防雪柵やバス待合所など大型製品、土木用資材、木製テラス・ベンチ、段ボールを利用したアイデア商品なども展示し、約5,000人の来場者に秋田の魅力やPRしてきました。また、会場設営には秋田美術工芸短大卒業の八木もえ美さん(福井県在住)にもお手伝いいただき、新たなご縁もできました。

その昔、北前船で結ばれていた秋田と敦賀。この縁にあやかってお互いの産業や人の交流が盛んになるといいですね。



敦賀市は、おぼろ昆布の全国生産量の85%を誇る人口約7万の都市。昆布を仕上げる重要な技が今でも「あきたを引く」と呼ばれているそうです。

てくれます。私も半額だったら、一緒に重い荷物を持ってあげられるのにな(ペーパードライバーさん 41歳・旭川)
女性学習センターの「パン作り教室」に参加しました。はじめてのパン作りは、楽しくておいしくて、さい高でした(柴田望 9歳・外旭川)
今年で学生生活も終わり、実家に戻ることに。病気もなく四年間元気に過ごせたのも、秋田県の恐るべし環境のためです。ただ一つ心残りなのは、横森五丁目バス停付近の道路で、よく車に泥水をひっかけられたこと(松下さ 22歳・静岡県浜松市)

係からひとこと
広報クイズに異変が起きました。いつもは二百通ぐらいしか来ないハガキが、今月は四百二十四通も来たのです。しかも小中高生や若い人も多い。なぜかとみんなまで考えました。
千五百号記念だったから、男女共生のお話がよかった、表紙がカラーだったから、年賀状の余りというわけでもないし...。
理由はどうであれ、これはうれしいことです。千五百号のお祝いの言葉もたくさん、たくさんいただきました。ありがとうございます。何か新しい連載企画がありましたら教えてください(内藤)

広報クイズ



やじろべえ
上手でしょう！

2月23日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「ワールド(ゲームズ)」、問2が「1,500号」でした。

全問正解415通(応募総数424通)の中から、草薙夏帆子さん(寺内字蛭根)、工藤由貴子さん(広面字釣瓶町)、工藤ミチさん(千秋矢留町)、後藤和子さん(將軍野向山)、斎藤都志子さん(八橋本町二丁目)、佐々木暁子さん(牛島東七丁目)、高橋タツ子さん(土崎港北二丁目)、玉尾ユカリさん(下北手柳館)、畠山円さん(手形田中)、渡部歌織さん(高陽幸町)の10人のかたに図書券をお送りします。

3月の広報クイズは最終面です。よろしく!!